

定期点検について

防爆及び防水性能を保つために定期的に以下の点検を実施してください。

- (1) 各部品の組付けにゆるみが無いか確認してください。
各部にゆるみが生じたまま使用しないでください。
ゆるみが生じている場合には、各部を締め直してからご使用ください。
- (2) パッキンの劣化による水の浸入等がないか確認してください。
- (3) ガードの状態を確認してください。
ガードが大きく変形している場合や交点の外れ・折損などが見られる場合には、ガードを交換してください。
- (4) 本体に外傷・亀裂・ヒビ割れがないか確認してください。

取扱い上の注意

⚠ 警告

- (1) 「0種危険場所」として定められた「長時間連続して危険雰囲気を生成する場所」では使用厳禁です。
(可燃性液体ガスタンクの液体上面やその付近、常時ガスが充満している場所など)
- (2) 落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
 - ① 万一衝撃を加えたり落下させた場合には各部の点検を実施して、本体に破損がないか各部品の組付けにゆるみがないかを確認してください。
 - ② 特に高所でのご使用の際は、落下や万一の破損による大事故のおそれがありますので、十分に注意してご使用ください。
- (3) 本体やガラスに大きな外傷・亀裂・ヒビ割れなどが生じた場合は絶対にそのまま使用しない。
- (4) 環境温度は-10℃～40℃の範囲で使用する。
- (5) 転倒、低位置からの落下など弱度の衝撃でも条件によってはランプやスイッチが破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
- (6) 電池やLEDの交換は必ず責任者指導のもと安全な危険区域外の場所で行うこと。
- (7) 使用しない時は必ずスイッチを切っておくこと。また長時間使用しない時は乾電池を取り外しておくこと。
- (8) 吊りベルトは肩にかけて使用し、本体を吊り下げる以外の目的で使用しない。
- (9) 絶対に水中では使用しない。
- (10) 二次電池(繰り返し充電のできるもの)は絶対に使用しない。
- (11) 危険雰囲気が存在する場所では絶対に前面カバーを開けないこと。
- (12) 光線を直視しないこと。輝度が高く、眼球を痛める場合があります。
- (13) 電池交換及びLED交換以外の不要な分解・改造をしない。

交換用部品について

- (1) LEDは必ず弊社指定の電球形発光ダイオード(専用タイプ)をお使いください。
他のランプをご使用になりますと、防爆検定基準を満たすことができないため大変危険です。
- (2) 乾電池は市販の単一形(アルカリ電池可)×3本をご使用ください。Ni-cdやニッケル水素などの二次電池(繰り返し充電のできるもの)は絶対に使用しないでください。
- (3) 本体各部に使用しているネジ・ナット・吊りベルト等の各部品も防爆性能を考慮して設定していますので、むやみに他の材質のものは使用しないでください。破損・紛失しないように注意して、万一の場合には弊社指定のものをご使用ください。
- (4) ガードや前面保護カバーの交換は専用工具が必要となりますので、破損等の場合は弊社に交換修理をご依頼ください。

※弊社指定以外の部品をお使いになられたり改造をされた場合、万一の事故等につきまして責任は負いかねますのでご了承ください。交換用部品はお求めの販売店、または弊社支店・営業所にお申し付けください。

HATAYA

B066

防爆型ケータイランプ

PEP-03D 型

この度は、ハタヤ防爆型ケータイランプをお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用の前には必ず説明をお読み頂き、正しくご使用ください。

発売元
株式会社 **ハタヤリミテッド**
製造元
株式会社 **畑屋製作所**
顧客サービスデスク
☎ 0120-686-888

保管用 取扱説明書

安全に関する説明

本製品は、工場電気設備防爆指針及び日本工業規格に規定されている、1種危険場所及び2種危険場所で使用することができる携帯用照明器具です。

【引用規格:工場電気設備防爆指針(ガス蒸気防爆1979)】

【関連法規:労働安全衛生法、ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド】

⚠ 警告

本製品のご使用に際しては本取扱説明書の内容を必ず熟読し、防爆機器の構造・取扱い上の知識を有する方、またはその責任者の指導により十分に理解をされた上で正しくご使用ください。

製品仕様

型 式 : PEP-03D(屋外用)
防 爆 構 造 : 耐圧防爆構造(d2G5)
型式検定番号 : 第T61470号
適 合 乾 電 池 : 単一形×3個
適 合 ラ ン プ : LED-3W(電球形発光ダイオード)
DC4.5V専用タイプ

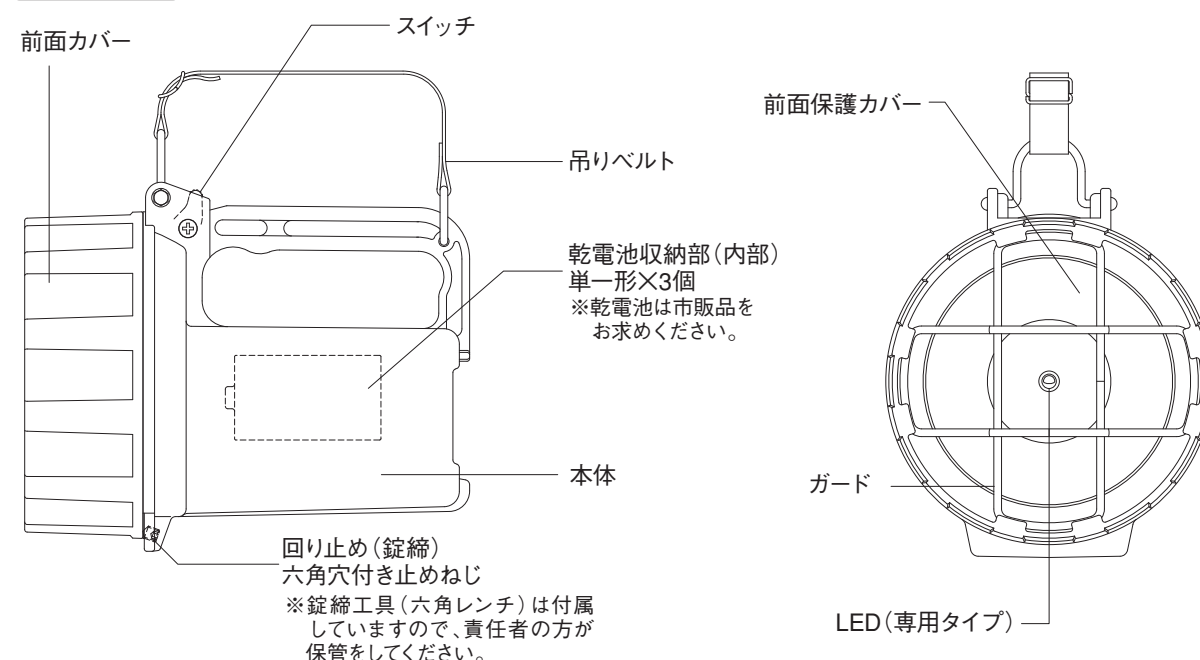
使用温度範囲 : -10℃～40℃ ※上限40℃は防爆基準の指定

実用点灯時間 : 連続約72時間

材 質

灯 体 : ダイカスト用アルミニウム合金
前面保護カバー : 硬質板ガラス
ガ ー ド : 黄銅製ニッケルメッキ仕上げ

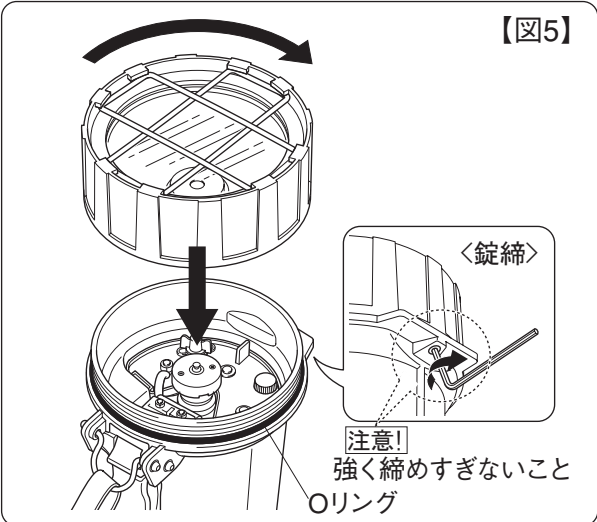
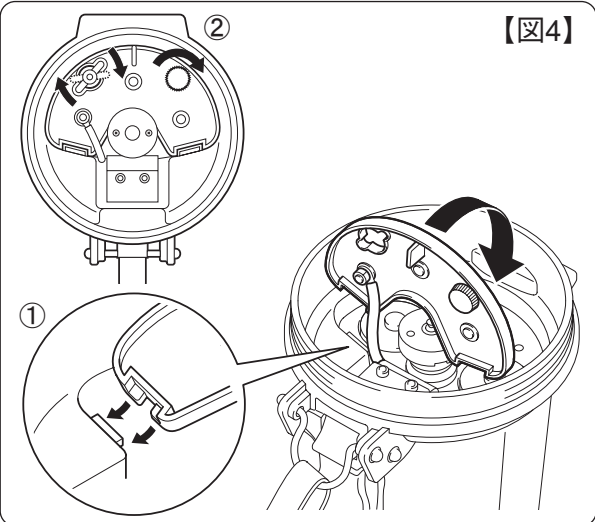
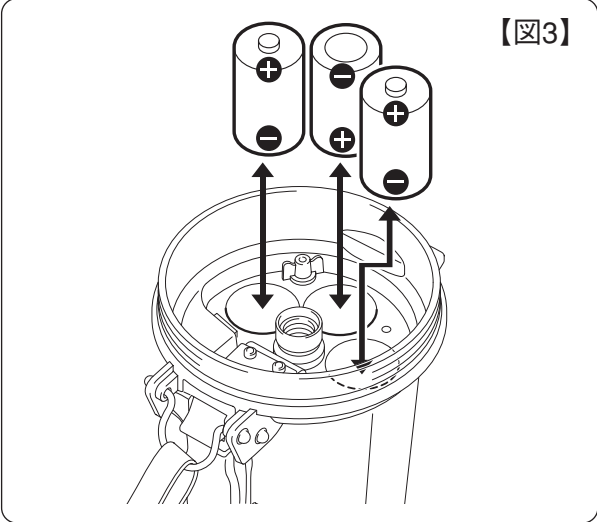
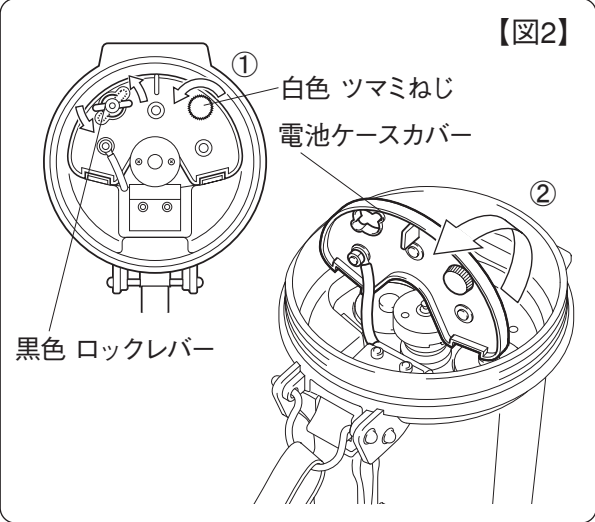
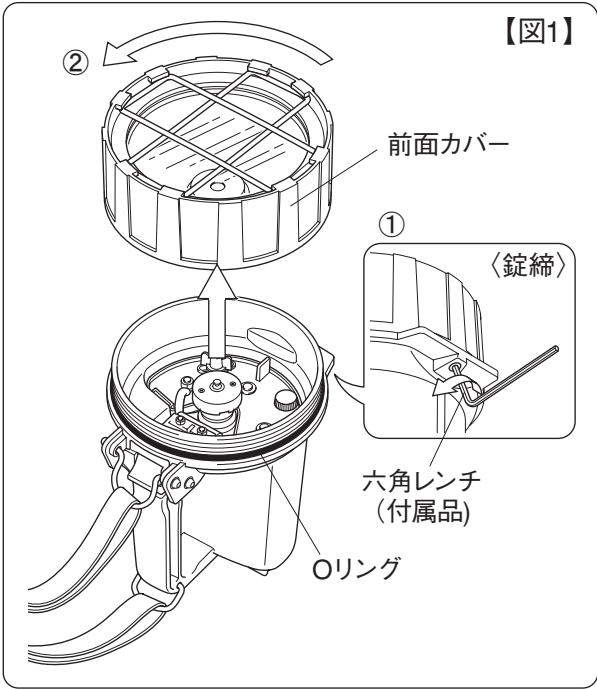
各部の名称



取扱い方法

1. 乾電池の取付け／交換方法

- (乾電池は市販品をお求めください。)
- (1) 回り止めの六角穴付き止めねじ（錠締）を付属品の六角レンチで緩めます。【図1-①】
 - (2) 前面カバーを回転させて本体から外します。【図1-②】
(本体と前面カバーは右ネジのはめあいとなっています。)
 - (3) 先に黒色のロックレバーを溝に合わせて外し、白色のツマミねじを緩め、電池ケースカバーを外します。【図2-①・②】
 - (4) ⊕－を間違えないように乾電池を入れます。
(または交換します)【図3】
 - (5) 電池ケースカバーの左右凹部を凸部に合せ、下から引っ掛けながら取り付けます。【図4-①】
 - (6) 白色のツマミねじをしっかりと締め、黒色のロックレバーをロックします。【図4-②】
 - (7) 逆の手順で前面カバーを本体に最後までOリングに当たるようにしっかりとねじ込み、回り止めの六角穴付き止めねじを強く締めすぎないように適度な力で確実に締付けます。この時に前面カバーが確実に固定されていることを確認してください。【図5】



警告

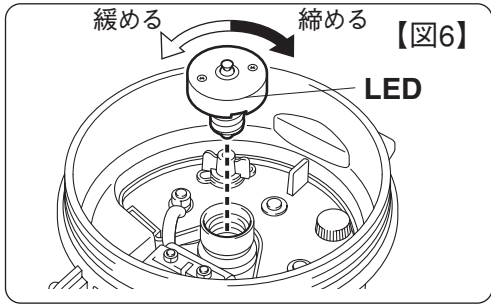
- ・乾電池やLEDの取付け・交換は必ずスイッチを切ってからガス発生のない安全な場所で行うこと。
- ・乾電池は十一の方向を間違えないようにすること。
- ・乾電池は新旧のものを混入したり、別の種類や異なるメーカーのものを混同させない。
- ・繰り返し充電のできる二次電池は内部で破裂のおそれがあるため絶対に使用しない。

注意

- ・回り止めの六角穴付き止めねじ（錠締）は強く締めすぎないこと。
- ・Oリングを傷つけない。(防水性能を損ないます)
- ・前面カバーをねじ込む時はこじたり、無理に回さないように注意すること。
(アルミ製ですので、ねじ山がつぶれたり、焼き付きのおそれがあります)
- ・消耗した電池はそのまま放置せず、早めに処分すること。(各自治体の指示に従って処分してください)

2.LEDの交換方法

- (1) 乾電池の取付け／交換方法と同様に前面カバーを外して専用のLEDを交換します。電球ソケットにねじ込み式となっていますので、緩まないようにしっかりと取り付けてください。【図6】
(本取扱説明書4頁の交換用部品についてを参照ください。)
- (2) 前記同様に前面カバーをランプの位置に注意して本体にしっかりと締付け、回り止めの六角穴付き止めねじ（錠締）を確実に締め付けます。【図5】



使用できる危険場所について

① 1種危険場所

通常の状態において、爆発性雰囲気をしばしば生成する可能性がある場所。

- (a) タンクローリー・ドラム缶などに引火性液体を充てんしている場合の開口部付近。
- (b) レリーフバルブがときどき作動し、爆発性ガスを放出する開口部の付近。
- (c) タンク類のガスベントの開口部付近。
- 例 (d) 点検修理作業で、爆発性ガスを放出する場合の開口部付近。
- (e) 室内または換気の妨げられる場所で、爆発性ガスが放出されるおそれのあるところ。
- (f) フローチングルーフタンクのルーフ上のシェル内部分。
- (g) 爆発性ガスの漏出するおそれのある場所内で、ピット類のようにガスが蓄積するところ。

② 2種危険場所

通常の状態において、爆発性雰囲気を生成する可能性が小さく、また生成した場合でも短時間しか持続しない場所。

- 例 (a) 危険性料品の容器類が腐蝕劣化などにより破損して、それらが漏出するおそれのある場合。
- (b) 装置の運転員の誤操作により、危険性料品を放出したり異常反応などにより、高圧・高温となり、装置を破壊して危険性料品を漏出するおそれのある場合。
- (c) 強制換気装置の故障により、爆発性ガスが停滞して危険雰囲気を生成するおそれのある場合。

●使用できる爆発性ガス(例)

発火度	G1	G2	G3	G4	G5
1	アセトン アンモニア 酸化炭素 エタノール 酢酸 酢酸エチル トルエン プロパン ベンゼン メタノール メタ	エタノール 酢酸イソペンチル 1-ブタノール ブタノール 無水酢酸	ガソリン ソリックス ヘキサン オクタン	アセトアルデヒド エチルエーテル	
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソブレン		
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素